

般若心經

唱 般若心經は

和 佛教の精要 密藏の肝心なり

このゆえに誦持講供すれば

苦を抜き樂を與え

修習思惟すれば

道を得 通を起こす

まことにこれ

世間の闇を照らす明燈にして

生死の海を渡す船筏なり

深く鑽仰し

至心に讀誦したてまつる

はんにやしんぎょう
般若心經

唱 佛 說 摩 訶 般 若 波 羅 蜜 多 心 經
 和 觀 自 在 菩 薩 行 深 般 若 波 羅 蜜 多 時
 照 見 五 蘊 皆 空 度 一 切 苦 厄 舍 利 子
 色 不 異 空 空 不 異 色 色 卽 是 空 空 卽 是 色
 受 想 行 識 亦 復 如 是 舍 利 子 是 諸 法 空 相
 不 生 不 滅 不 垢 不 淨 不 增 不 減
 是 故 空 中 無 色 無 受 想 行 識
 無 眼 耳 鼻 舌 身 意 無 色 聲 香 味 觸 法
 無 眼 界 乃 至 無 意 識 界 無 無 明 亦 無 無 明 盡
 乃 至 無 老 死 亦 無 老 死 盡 無 苦 集 滅 道
 無 智 亦 無 得 以 無 所 得 故 菩 提 薩 埵
 依 般 若 波 羅 蜜 多 故 心 無 罣 礙 無 罣 礙 故
 無 有 恐 怖 遠 離 一 切 顛 倒 夢 想 究 竟 涅 槃
 三 世 諸 佛 依 般 若 波 羅 蜜 多 故
 得 阿 耨 多 羅 三 藐 三 菩 提 故 知 般 若 波 羅 蜜 多
 是 大 神 呪 是 大 明 呪 是 無 上 呪
 是 無 等 等 呪 能 除 一 切 苦 眞 實 不 虛
 故 說 般 若 波 羅 蜜 多 呪 卽 說 呪 曰
 揭 諦 揭 諦 波 羅 僧 揭 諦
 菩 提 薩 婆 訶 般 若 心 經

唱 佛說摩訶般若波羅蜜多心經

和 觀自在菩薩行深般若波羅蜜多時照見五蘊皆空度一切苦厄舍利子色不異空空不異色色即是空空即是色受想行識亦復如是舍利子是諸法空相不生不滅不垢不淨不增不減是故空中無色無受想行識無眼耳鼻舌身意無色聲香味觸法無眼界乃至無意識界無無明亦無無明盡乃至無老死亦無老死盡無苦集滅道無智亦無得以無所得故菩提薩埵依般若波羅蜜多故心無罣礙無罣礙故無有恐怖遠離一切顛倒夢想究竟涅槃三世諸佛依般若波羅蜜多故得阿耨多羅三藐三菩提故知般若波羅蜜多是大神呪是大明呪是無上呪是無等等呪能除一切苦真實不虛故說般若波羅蜜多呪即說呪曰
揭諦揭諦波羅揭諦波羅僧揭諦菩提薩婆訶
般若心經

- 参考資料：真言宗檀信徒勤行（高野山金剛峯寺教学部）など。
- 「唱」「和」とあるのは、大勢で唱える場合「唱」の部分は先ず一人の人が唱え、「和」から全員で唱えます。
- 振り仮名は漢字の読み方ではなく、読経に即したもので、文字を足したり促音を省略するなどしている部分があります。
- 旧字体と新字体が混じっている部分や、現在では余り使われない異体字が混じっている部分があります。次の例の、矢印の左側の漢字はここで使用している旧字体で、右側はその新字体です。
經→経、佛→仏、教→教、精→精、藏→蔵、拔→抜、樂→楽、與→与、閒→間、燈→灯、海→海、
讀→読、說→説、觀→観、舍→舎、即→即、諸→諸、淨→浄、增→増、聲→声、觸→触、盡→尽、
神→神、眞→真、實→実、虚→虚、揭→掲、僧→僧 など。
- 旧字・新字の関係とは別に、経本などによって異なる字体の漢字が当てられていることがあります。確認できている主な例は次の通りですが、ここでは矢印の左側の字を使用しています。
呪→咒、揭→羯、諦→帝、波→般、薩→僧、婆→莎 など。
- 神道では最初の「仏説」は省略されます。また、仏教でも宗派などによって省略して唱えられます。
- 般若心經の本文は262文字とされますが、題目などを全て数えると、一般的には278文字とされます。
- 題目などを数えるかどうかで何文字とするかが違ってきますが、最初の「仏説」を除くと276文字、尾題の四文字「般若心經」を除くと274文字、最初の「仏説」と尾題四文字「般若心經」を除くと272文字、最初の経題十二文字「佛說摩訶般若波羅蜜多心經」を除くと266文字となります。
- “わずか260余文字の”、“わずか300字足らずの”などと表される場合もあります。